



森林環境教育

ネイチャークラフト 北九州市立田原小学校4年83名

2023年11月21日

スタッフ:中村 轟 高田 大熊 田川 藤原 千田 諸石 樋口 水田

会場である体育館への入場から元気な挨拶と笑顔いっぱいのフレンドリーな4年生と対面。

この日は保護者の授業公開日にあたり、数名のお母さん方もお見えになり、にぎやかなクラフトとなりました。お陰で私たちの緊張もすぐに和らぎ、楽しい時間の始まり～。

森林インストラクターの役割・各自己紹介に続きアイスブレイクは、「“どんぐり”の根はどの部分から出る？」の三択問題。答えはバラバラになりましたが、実物のどんぐりの根を目の当たりにして、子どもたちの目がどんぐりの様！！

森の案内人です！



ええっ👁️

ここからよ！



いよいよ自然からの贈り物を使ってのクラフトの開始！

木と木を接いでください



さ～て、何作ろう??



同じ材料、同じ空間、同じ時間で作った作品にも関わらず、83名一つとして同じものがなく、それぞれその子の想いをみごとに形に表現してくれました。

ファンタジックで立体的で独創的なその作品が放つエネルギーと、作品に向かう真剣な眼差し・集中力に、我々は大きな感動を受け取りました。お母さん方からの、「この子たちは入学式もできず、

4年間こうして集まって何かを一緒にやる！という経験をこの仲間ですることが一度もなかった。今日はこれまでの全部が爆発して外に現れたのでは！！本当に嬉しい。」という声に胸が熱くなりました。



木片パッチワークで“野球バット”完成

最後は、森の話。

私たちが生きていくために必要なことのほとんどを森が与えてくれている。森と動物と人間が互いに安心・安全に生きていけるよう、私たちは常日頃からどんなことを意識していけばよいか？！子どもたちは振り返りの中でしっかりと考え発言してくれました。



- 森は人間にとってなくてはならないもの！大切にしたい。
- 木製品をなるべく多く使っていきたい。
- 自然のものに触れて楽しかった。
- 自分たちの一生懸命が人を元気にすると聞いて嬉しかった。

瑞々しい生きる力に満ち溢れる子どもたちのこの真っすぐな瞳を濁すことないように活動をしていこう！と強く感じました。

(報告 水田)